

医動物・食品中異物検査結果(平成29年度)

医動物担当では、人の健康を害する、または不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。

その中の一つとして、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受けて、昆虫類を中心に食品へ混入した異物の検査を行っています。平成29年度の食品中異物検査実績は3件でした。内訳は昆虫類1件(ハエ目)、その他の動物類2件(ミズ綱1件、等脚目1件)でした。

検査結果の詳細は以下のとおりです。

相談内容・発生状況等	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
購入した骨付き肉そうざいを、温めて食べようとしたところ、白い幼虫のようなものが多数出てきた。		ヒロズキンバエ (ハエ目)	幼虫は動物の死体、塵芥、動物の糞などから発生する。 成虫は、人家周辺、ゴミ処理場などでみられる。日本に広く分布する。
購入したキャベツに赤い虫が多数みられた。		ミズ綱の一種 (貧毛綱)	陸生種、水生種に大別される。 陸生種ではシマミズが腐敗有機物を主食とし、フトミズ類の多くの種は腐食を含んだ土壌を主に摂食する。
たたみいわしに異物が付着していた。		ウオノエ科の一種 (等脚目)	魚類の口腔内、鰓腔内、腹腔内、体表に寄生し、体液を吸う大型の寄生虫。

【 微生物検査研究課 医動物担当 】